

# 令和5年9月立山町議会定例会一般質問・質疑通告概要

(令和5年9月15日)

## ○ 一般質問・質疑順番

1番	平	井	久	秋	議員
2番	髪	口	清	隆	議員
3番	伊	東	幸	一	議員
4番	松	倉	勝	実	議員
5番	内	山		昭	議員
6番	澤	井	峰	子	議員
7番	後	藤	智	文	議員

## <一般質問>

### 1番 平 井 久 秋 議員

#### 1 安心安全について

##### (1) 災害対策強化

6、7月に当町で局地的豪雨により大きな被害が発生した。その後、町では来年春の人事異動で担当課ないしは、担当係を新設する考えがあると示した。

- ① 課として組織した場合、また、係とした場合の業務の内容はどのようなものか。今までのような他業務との兼務ではなく、専門的に業務に当たるのか。
- ② 現在の防災業務が、新組織に移管されるのか。また、新組織設置によりどのような防災、復興体制になるのか、伺う。
- ③ 「集落支援員」を配置するとのことだが、どのような方を対象にどの程度の人材を配置するのか。

##### (2) 災害ボランティアと消防団員

今回の災害復興で、個人的にボランティアに当たる団員もいたようだが、こういうときこそ組織として行動した方が、より地域への貢献力、団員のモチベーションにもつながると思う。消防団への依頼があれば、出る準備はしていたという団員もいた。消防団への出動依頼をする場合、誰がどのような状況の中で判断し、依頼するのか伺う。

#### 2 消防について

現在、実質的に単独で消防署を置くのは、当町だけではないか。その中で、かつてない異常な猛暑により、出動依頼が増えているように感じる。

- (1) 出動状況（火災及び、救急搬送）は昨年同期と比較し、どのようになっているのか。

- (2) 現在の人員での、体制状況はどうなっているのか。
- (3) この春から、富山市消防に4名の職員が派遣されているが、立山署側では人員的に足りていないことはないのか。いずれ帰署することになると思われるが、現体制では厳しい状況だと思う。どう認識しているのか。
- (4) 非番の職員が呼び出されることがあると聞く。過去と比べその頻度はどの程度か。

### 3 農地の宅地並み課税について

8日の提案理由説明の中で、五百石地区の都市計画用途地域内の農地のうち、耕作されていない、また適切な管理がされていない農地で、特別な事情がある場合を除き、近傍の宅地並み課税にするよう指示されたとのことだった。税のことでもあり、何が、どのように解消していくのかを、丁寧に説明する必要があると思うが、町長の思いを聞かせていただきたい。

### 4 所有者不明農地

農水省の調査で、所有者不明の農地が全耕地面積の24%を占め、前回から4ポイント上がっていた。政府は来年4月から、宅地を含むすべての土地の相続登記を義務付けるという。

- (1) 令和元年6月に、所有者不明の土地について質問した際、所有者不在の土地が、5.2haあるという答弁だった。今回、これに加え、農地での実態は把握されているのか。
- (2) 長期間、相続登記されずにいた農地などは相続対象者の確認に多大な時間と経費が掛かる。義務化された場合、違反者には10万円以下の過料が科せられることになり、相続放棄が増加することも考えられる。集約化されないような中山間地では、耕作放棄地がさらに増えると思われる。所有者に適切で丁寧な案内が望まれるが、いかがか。

### 5 信号待ち時間の案内表示を

五百石駅から町観光協会が入居する建物前を南に向かい県道富山立山魚津線との三叉路は地鉄立山線の上下線の運行が重なった場合、電車が通過した後も、県道側が優先と思われる上、また役場近くの三叉路との信号が時差式なのか五百石駅方向から来た車の待ち時間が、大変長い。駐車場を出るときに待ち時間が分かれば、最初からう回することもできるし、イライラすることもないと思われる。一考をお願いしたい。

## **2番 髪口清隆 議員**

### 1 豪雨災害について

6月28日と7月12日から13日にかけての豪雨によって、町内各地では大変な被害が出た。町長はじめ町当局には、避難所開設や国や県への要望等、迅速に対応していただいた。

- (1) 白岩川ダムの緊急放水によって堤防が決壊し、水田崩壊はもちろん家屋の床上浸水、農機具等の水没があり『人災』ではとの声も多く聞く。幸いにも身体的な被害は無かったものの、精

神的な被害は残っている。今回の緊急放水について、町長の見解を伺う。

(2) 激甚災害の指定を受けたが、農地農業施設や林道の現時点での被害状況と、復旧計画は。

## 2 地域開発について

富立大橋が開通して以降、利田地区には様々な企業が進出している。

(1) 利田地区塚越において、乗馬クラブ建設の話が浮上し、賛否両論様々な意見があるため、数回にわたり話し合いが持たれている。民間同士の課題ではあるが、いざこざや訴訟など問題が発生する前に、行政として関われることはないか。

(2) 前回の定例会でも質問させていただいたが、富立大橋橋詰で町が進めている「準工業地域」への用途地域に設定場所に、「商業エリア開発計画」があると新聞報道でも取り上げられた。現時点で町はどこまで把握しているのか。

## 3 山岳観光について

「黒部宇奈月キャニオンルート」の旅行商品化が、来年6月30日に決定し、「立山黒部アルペンルート」と繋がり観光客の増加が期待できる。

しかし、物価高やコロナ禍の影響もあり仕方がないが、アルペンルートの運賃（例えば立山駅と室堂間の往復料金は、令和元年では4,390円が令和5年は7,380円）の値上げがあった。

(1) 観光旅行ならともかく、地元の立山町民が気軽に出かけられなくなったように感じる。以前あった「立山の魅力再発見キャンペーン」のように還元されれば、出かけやすくなり立山の魅力を再認識し、町民自らが町内外に広く発信していただけるのではと思うがどうか。

# 3番 伊 東 幸 一 議員

## 1 50年に1度の豪雨について

- (1) 再び起こり得る大規模な洪水災害、大雨対策・水害への備えについて問う。
- (2) 「家屋の浸水」「公共土木施設」「農地・農業施設」「林道」等被災状況を問う。
- (3) 応急復旧、復興の取組状況について問う。
- (4) 災害復旧事業に係る地元負担割合について問う。
- (5) 国の補助を受けることができる災害復旧事業のスケジュール等を問う。

## 2 白岩川ダム管理について

- (1) 白岩川ダム建設以来初となる緊急放流について問う。
- (2) 被災前の堆積状況、毎年の浚渫、予算、ボリューム等を問う。
- (3) 豪雨による堆積状況について問う。
- (4) 豪雨によるダムの被災状況、復旧について問う。
- (5) 通信警報設備、観測設備等ダム管理施設の機能充実を問う。

- (6) 昭和 49 年 10 月完成 50 年と長期経過、ダム本体の疲労を危惧。耐震強度、耐震構造に対する安全対策が技術的、構造的に万全で安全性に問題がないかを問う。

### 3 白岩川における河川復旧及び整備事業等について

- (1) 浚渫を行い、可能な限り流下能力を向上。
- (2) 河川整備事業による河川改修を実施。
- (3) 事業の加速化要望など 3 点を問う。

## 4 番 松 倉 勝 実 議員

### 1 マイナンバーカードについて

私は、今世紀最大の行政改革と信じる。町長の思いは、常々聞いており 9 月議会冒頭でも熱意を感じた。

- (1) 今後の目標普及率の設定とその決意を伺う。
- (2) 立山町におけるカード利用状況を伺う。
  - ① 本町の利活用の実態を伺う。
  - ② 独自の自治体アプリ導入について伺う。

### 2 小中学校の夏休み期間について

この夏は過去最高の猛暑で 8 月平均気温 30 度超え。今後、この傾向は来年以降も同様といわれている。

夏休み期間が 8 月 1 日～28 日と少ないと感じた。熱中症で登下校時に亡くなる事例を未然に防ぎたい。

- (1) 夏休み期間の日数の是非について伺う
- (2) 夏休みの期間設定は、どのようにして決定されるのか伺う。

### 3 小中学校の学校図書について

- (1) 図書の利用状況について伺う。
- (2) 学校図書の蔵書実態と新刊購入の実態について伺う。
- (3) 視聴覚ブース新設の是非について伺う。
- (4) 図書室の充実と活性化について今後の対応を伺う。

### 4 町営バスについて

我が町の町営バスについて、知らないことが多い。この場を借りて、周知と実態把握を図りたい。

- (1) 本町の利用状況について伺う。
- (2) 回数券、定期券の詳細について伺う。(全ての路線に適用されるのか等)

- (3) 利用者への路線情報、PRの強化について伺う
- (4) 予約乗り合い、デマンド型交通について検討されているのか伺う。
- (5) 路線上、任意の位置で乗り降りできる。いつ実施されたのか伺う。

## 5番 内 山 昭 議員

### 1 黒部宇奈月キャニオンルートの運行開始について

榑平駅と、黒部ダム駅発の2つのルートの旅行商品化に向けて現在準備が進められており、立山町々内に所在する観光ルートでもあることから、検討過程で見えてきた課題はできるだけ取り除いておきたいものです。その課題には、この両ルートの通り抜けに3時間を要し、座り続けもあり、全工程でも1日7時間を超す長旅となり、多少きついが、黒部の電源開発の難工事の歴史や歩みの予備知識があれば、肌に伝わる生の感覚から大きな喜びと達成感が得られると思います。黒部川第4発電所の完成から60年。ルート完成後は「公衆の利用に供する」という条件で工事認可されてはきたものの、落盤対策工事などができず、閉ざされてきましたが、ようやく開放、運行まで残り10か月。満足度の高い観光商品だと評価されることを期待して止みませんが、町長の思いをお聞かせ願います。

### 2 6月に発生した集中豪雨について

6月28日午前0時から24時までの24時間に記録した局所的豪雨は、立山町、上市町の山間部を中心とした県内で初めての線状降水帯が観測されるなど、局所的な集中的豪雨でした。

さらに2週間後の、7月12日から13日未明にかけても同じような集中豪雨がありました。

しかし、7月14日には早々と「R5豪雨災害復旧復興チーム」を編成し、国の災害査定に向けた測量設計や応急工事が進められ、激甚災害の指定も受け、災害復旧に対する国庫補助率の引き上げ等、財政負担の軽減にむけて必要な措置が取られるようです。町からの支援についても補助率を引き上げ、できる限りの支援を行っていくと、8月の臨時議会で町長の提案理由説明もありました。

以上のように、この度の甚大な豪雨災害は農地・農業施設では127箇所、林道については170箇所と大変な被災状況でした。こんな状況下にあって、被災箇所からの大量な流出土砂はダム底に堆積するとはいえ、流出は避けきれません。遠からず、下流域に堆積することは必至であり、いち早く下流域での浚渫とストックヤードの確保を、町が自前で進めるべきとの指摘があります。農林課長の見解をお伺いいたします。

## 6番 澤 井 峰 子 議員

### 1 終活支援について

超高齢社会を迎え、身寄りのない方への終活支援、エンディングノートを活用したサポートを

自治体が進めている。

- (1) 原則、一人暮らしで身寄りがなく、高額な財産を有しない方が対象となると思うが、未婚の方や余命宣告を受けた方等、範囲を拡充する自治体もある。元気な時に自身の身の回りを整理することや孤独死を防ぐための大切な支援となると思うが、町の対策を伺う。
- (2) 町版のエンディングノートを継続的に作成し、広く配布する中で、自身と向き合い、ご家族と話し合うことで町の課題でもある空き家や耕作放棄地への予防策に繋がる大切な機会になるのではないかと考える。町の見解を伺う。

## 2 立山町日常生活用具給付事業について

物価高騰の影響で、日常生活用具の中には価格が値上がりしているが、給付額が据置のため以前よりも負担が大きくなっているとの声がある。

日本オストミー協会によるアンケート調査に答えたストーマ装具を使用している8割の方が給付不足としている。実際、富山県では射水市のみが消化器系8,858円を9,012円に、尿路系11,639円を11,842円と基準額を増額している。

- (1) わが町でも早急に基準額を増額をと考えるが町の見解を伺う。
- (2) 併せて、日常生活用具給付事業全体の基準額が、今の物価高騰に適しているかを今一度、検証すべきと考えるが町の見解・対策を伺う。

## 3 保育環境の充実について

途中入所への希望が多い中、保育士確保の難しさが課題となっている。今回、町が積極的に保育士確保に取り組んで頂いているが、改めてその内容を伺う。

- (1) 立山町保育士等就労助成、また就労継続事業の詳細は。またどの程度の人数を想定しているのか伺う。
- (2) 保育園バスの置き去り防止ブザーの設置状況を伺う。

## 4 更年期対策について

昨今、更年期の問題は女性だけでなく男性にも多いとされている。特に女性の40代～50代後半に発症するため、離職や役職辞退などの経済的損失が6300億円にのぼるとされている。

- (1) 町の対策として、男女関わらず対象年齢の健診に「簡略更年期指数(SMI)」を取り入れ、早期に的確な対処、治療を受けることができるようにと考える。町の見解を伺う。

# 7番 後藤智文 議員

## 1 災害対策について

6月の豪雨被害では、白岩川ダムの放流が話題になった。これまでの検証はどうであったのか。原因として、土砂のたまりすぎはどうなのか、放流の時間はどうだったのかなど、今後の災害対策

のためにもしっかりと検証されたかどうか伺う。

## 2 利田地区商業エリアについて

9月10日付けの北日本新聞に、利田地区商業エリアの開発について掲載されていた。そのことにより、交通渋滞などの問題が出てくると思われるが、今のところ住民にとってどんな問題が想定され、どんな対策が考えられるか。

## 3 立山町地球温暖化対策実行計画について

- (1) 温室効果ガス排出量を抑えるために、これまで計画的に実施し、成果を上げてきた。今回、国の改定に合わせて目標が設定されたが、県と同レベルの目標に上げるべきではないか。
- (2) 多くの公共施設について温室効果ガス排出量は減ってきている。しかし、グリーンパーク吉峰は排出量が一番多く、2013年より12%増えている。今後については新しいボイラーの導入が検討されているようだが、もっと手立てが必要ではないか。
- (3) 立山町地球温暖化対策実行計画の中に、営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）の推進が掲げられている。持続可能な農業の実現と地球温暖化防止のためのソーラーシェアリングの実現に向けて検討すべきではないか。

## 4 有機農業推進について

- (1) 国は「みどりの食料システム戦略」及び「みどりの食料システム法」を作り、有機農業に本格的に取り組むことになった。あるJA組合長は「JAもオーガニックでなければ生き残れない」と断言している。「オーガニックビレッジ宣言」をし、今後、計画的に有機農業を進めていくべきではないか。
- (2) 6月15日、自民党かられいわ新選組まで超党派35人の国会議員で「オーガニック給食を全国に実現する議員連盟」が発足した。有機農業を広め、子供たちに安心安全な食材を食べさせたいと広がっているオーガニック給食。有機農業を広めるためにも、同時にその受け皿として、給食に有機食材を取り入れる計画をたてる必要があると思うがどうか。

## 5 自衛隊員募集について

6月議会で取り上げた自衛隊員募集に関わる名簿提供について、希望しない該当者の取扱いについて検討するとされていた。上市町はデータ提供から以前の自衛隊員による住民台帳閲覧に戻した。住民台帳閲覧に戻すか、該当者に周知し、該当者が情報提供を希望しない場合は、外すべきではないか。

## 6 教育問題について

- (1) 教師の働き方改革について
  - ① 滑川市教諭の過労死判決をどう受け止めるか。7月5日、40代後半の教諭の過労死に対して損害賠償請求訴訟で富山地裁は、市と県の賠償責任を認め、市と県もそれを認めた。こ

の判決の重みをどう受け止めているか。

② 教員の過重労働は全国的にも問題になっている。心身ともに疲れ果て、長期間休む教諭も増えている。我が町の教員の労働実態と長時間労働対策はどうか。

(2) 暑さ寒さ対策について

① 猛暑が続いた今年、体育館での部活は大変な思いをしながら取り組まれた。文部科学省は学校体育館について、今年度から「避難所としての機能強化」を掲げ、体育館の断熱改修への補助金を拡充している。クーラー設置が望ましいが、断熱改修で暑さ寒さを少しでも和らげることができると思うがどうか。又は千葉県いすみ市で熱中症対策として取り入れられている移動式エアコンを検討できないか。

② これまで学校の教室の窓にフィルムを張るなどして、教室の冷暖房の効果を高める取組がされている。しかし、日射の影響を受ける最上階は特に熱くなり、調査では、エアコンを入れても気温が35度近くになったという報告もある。暑さ寒さ対策のために天井裏に断熱材を入れるべきではないか。

(3) 文部科学省は、不登校対策で「校内教育支援センター」（校内フリースクール）を拡充することを決めた。以前にも取り上げたが、様々な不登校理由があり、適応教室で対応しているとのことだった。不登校児童生徒が増えた今、適応教室も含めあらゆる手段で不登校児童生徒を少なくしていくことが求められており、校内フリースクールを設置すべきではないか。

(4) 夏休み短縮について

昨年9月議会で、夏休み短縮の効果について質問したが、「今後検証を続けたい」という答弁だった。2年目を終え、児童生徒、保護者、教職員の受け止め方はどのように変わったか。